



学長・教授

陶山 哲夫

すやま てつお

理学療法学科

【専門領域】

整形外科学

(脊髄・脊椎損傷と末梢神経、四肢の機能再建)

リハビリテーション医学

(脊髄損傷と他の肢体不自由のリハビリ医学)

#### 研究・実務の業績

1. Tetsuo Suyama: Spinal Flexibility and Activities of daily living for the Thoracic and Lumbar Spinal Cord Injured . Paraplegia ; 31, 24, 1992.
2. Tetsuo Suyama : Indication of reconstruction surgery for paralysis of extremities. 15, World Congress of International College of surgeons. 33-36, 1996.
3. Tetsuo Suyama : Rehabilitation of spinal cord injury in the national rehabilitation center for the disabled of Japan. Spinal cord 35 : 720-724, 1997.
4. Tetsuo Suyama : Basic Evaluation Method of Physical Function in Classification—especially on Spinal Cord Paralysis. CDSTC :2008, 16-17.

#### 学生へのメッセージ

現代は社会の発展とともに益々複雑化し、そこに生きる人間は種々の格差や差別化により益々孤立化を深めております。このような社会現象において本学の理念として「健常者・障がい者・若年者・高齢者など、多様な人々が“共生できる社会”の実現と発展に寄与する」というものであります。つまり本学は、多様な生活者が「共生できる社会」の実現と発展が重要である、と考えているわけです。しかし、「共生社会」実現の推進を支える保健医療分野の重要性が、必ずしも十分に認知されていないというのが現状であります。このため、保健医療分野を成長に導くには、この分野に「新たな価値の創造」を図ることができる人材が必要である、と私は考えています。このような現状を踏まえ、本学は「高度な実践力」と「豊かな創造力」を持ち、「共生社会」実現と発展に貢献するリーダーとして活躍できる、新たなタイプの専門職業人の育成を図りたいと思っております。

本学は多様な領域にわたる革新的な学びを通じて、多様性・異質性を尊重し、「Inclusiveな社会の創成」を目指しております。これは必ずや、未来社会を開く鍵となるはずで、学生は新しい学問と社会に役立つ実務を学び、共生社会を支援し貢献できる理学療法士、作業療法士を目指して頑張ってください。そして社会に巣立った暁には大きく羽ばたき、思う存分活躍されることを期待しております。